教科名		技術・家庭(技術分野)	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	東京書籍	教育図書
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の重要語句はゴシック体で強調し、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようになっている。 「TECH Lab」により、知識や技能の基礎・基本を身に付けた上で実習等に取り組めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中の重要語句はゴシック体で強調し、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようになっている。 別冊のスキルアシストは、教科書本紙の題材例に合わせ、学習前に確認できるよう、詳しい手順や注意事項について示されている。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身の問題発見のきっかけとなるテーマを掲げている。また、「問題の発見、課題の設定」では、動機付けとなる漫画を掲載し、生徒自身の問題発見につながるように配慮されている。 「問題の発見、課題の設定」「設計・計画」「製作(制作)」「評価・改善・修正」の流れが示され、自分自身で問題解決への見通しをもてるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各節の「見つける」により、身近な問題と知識を結び付け、学んだ知識・技能を設計・計画に生かすことができるように構成されている。 問題解決に段階的に取り組むことができるよう、「問題解決の流れ」を4コマ漫画で学び、問題解決の流れを捉えるとともに、設計・計画に必要な知識・技能を丁寧に取り上げ、主体的に問題解決に取り組むことができるように配慮されている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 画像認識の技術を活用したプログラミングによる問題解決例を紹介している。また、高校「情報」につながる「AI」や「データサイエンス」を活用した技術、技術者を特集している。 編末資料の「すごいで！技術」では、実用化され継続的に取り組んでいる事例が掲載され、現在の取組や問題が分かりやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各編の「未来をつくろう」では、技術の発展により生み出される様々な技術のプラス面とマイナス面を考え、持続可能な社会の在り方を考えられるよう配慮されている。 「夢をかなえる技術」では、最新技術を紹介し、問題解決を通して夢を叶えることについて示されている。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の特集ページにおいて、自然災害におけるデータの活用やエネルギーの効率的活用など、SDGsと技術の関わりを紹介している。 問題発見と課題の設定において、SDGsの視点で考えられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「安全」「衛生」「共生」「防災」「環境」等、今日的な課題に対応したマークを記し、社会や生活の問題と技術科との関わりが示されている。 SDGsの17の目標のマークを関連する学習内容に付けて示している。
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「技術分野の学習方法」「作業を楽しく安全に進めよう」のページが配置されており、学習の仕方や安全な作業方法等について示されている。 各ページに配置されている二次元コードで解説動画を見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れがイラストの「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の3ステップになっており、生徒が主体的に活動できるようになっている。付録本のスキルアシストで復習しながら自らの力で実習に取り組むことができるよう配慮されている。 関連する動画や資料が用意され、二次元コードを読み取れるようになっている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 材料や資源についての解説が詳しく、ごみの廃棄について考えるコラムもあり、多摩市のごみ減量の取組等、本市の状況に合った学習を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術について写真付きで家庭でも簡単に挑戦できるように詳しく解説されており、多摩市内の地域の方々や農家が取組んでいるブルーベリーなどの栽培にも生かすことができる。

教科名		技術・家庭(技術分野)	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	開隆堂出版	
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」という構成で見方・考え方を働かせることができるようになっている。 ・「製作のための技能」では、工具や機器の使い方、作業の手順について等が掲載されている。 	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の学習で行う問題解決の流れを、「問題の発見と課題の設定」「構想と設計(計画)」「製作(制作、育成)」「成果の評価と改善」で共通して記されている。 ・教科書の冒頭で学習の進め方や安全上の注意事項等を「ガイドンス」で漫画形式で分かりやすく示している。 	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭資料では、情報機器を扱う際の注意点やデジタル・シティズンシップに関連する内容が取り上げられている。 ・「情報の技術と私たちの未来」では、AIやメタバースなど新しい技術やその開発の背景についても取り上げられている。 	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭において、SDGsと技術科の学習について考えさせるページが配置されている。 ・振り返りにおいて、持続可能な社会を実現するため、SDGsと関連させながら、技術と社会・環境との関わりを捉えることができるように配慮されている。 	
B 使用上の 便宜について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各小項目は「学習の目標」「学習課題」「内容」「CHECK」の4段構成になっており、流れに沿って学習を進めることができるよう配慮されている。 ・各ページに配置されている二次元コードで製作や作業の手順、学習内容を補充するコンテンツ等を見ることができる。 	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の育成技術において、木を育てる方法や間伐についてなどの目的について詳しく記載されており、多摩市における街路樹の管理等の取組など、本市の状況に合った学習を進めることができる。 	